



シェイクアウト訓練をする参加者

■シェイクアウト

地震発生時の身を守る行動が「シェイクアウト」  
「身を低く」「頭を守る」「動かない」  
すぐに行動できるよう日頃から心がけましょう。



■トリアージ

大規模災害などで多数の負傷者が発生した場合、現場では「トリアージ」が行われます。  
「トリアージ」とは、1人でも多くの負傷者に対して最善の治療を行うために、負傷者を重症度や緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めることです。

日本では阪神・淡路大震災の教訓から、災害現場などでトリアージの結果を示すトリアージタグが定められました。



医師らにより行われたトリアージ



負傷者を搬送する陸上自衛隊



水害対策の大型土のう設置訓練



救急隊が閉じ込められた人を救助



炊き出し訓練のカレーを食べる参加者



災害時の充電を体験する参加者

これからも地域のためにがんばります！



地域を守る消防団

有料広告欄

第2部 災害対応訓練

水害を想定して、ヘリコプターからの「河川状況の報告」や下妻市建設業会の「大型土のうの設置訓練」、昨年の熊本地震から複合的な地震発生を想定して、「地震発生時の初動訓練(シェイクアウト)」、「緊急救助訓練」では「トリアージ」など、災害時の応援協定を結ぶ関係機関や団体などとの連携による各種訓練を行いました。

「育てよう!地域の防災力!」  
下妻市防災訓練  
を開催しました

6/18日

☎ 消防交通課 ☎ 43-2119 FAX 43-4214



避難所受け付けをする避難者(下妻中学校体育館)

いつ起こるか分からない災害だから、普段歩いている身のまわりを確認することが大切だと思います。  
「いざ」という時の準備も大切、気持ちの準備も大切です。

石の宮地区代表区長  
荒川 克己さん



聞き取り調査をする保健師



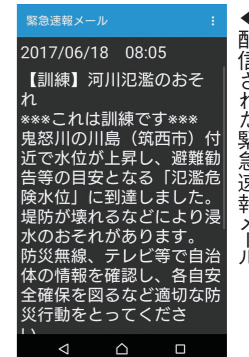
避難所について話す防災士



災害の  
そなえは  
「もしも」でなく  
「いつも」!

第1部 避難訓練

大雨による鬼怒川水位の上昇を想定し「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示(緊急)」の順に防災行政無線が放送され、下妻中学校区の各自治区から約300人が、下妻中学校など5カ所の基幹避難所へ避難する避難訓練に参加しました。各避難所では、茨城県防災士会による「避難所の開設・運営に関する講話」も実施されました。



配信された緊急速報メール